

丸亀市立飯山南小学校

実践事例（関連項目：教育活動プラン④-2）

思いを伝え合うペア学年の活動

目的

上学年と下学年でペアを組み、1年間いろいろな活動を通してふれあうことで、相手の立場や考えを思いやる心とそれを行動や言葉で表す力を育てています。

内容

各委員会からの提案をもとに、代表委員会で活動計画を立て、それぞれの学年で実践しています。ペア学年での活動（読書・給食・遊びなど）と1年から6年までの縦割りグループでの活動（1年生を迎える会・運動会など）があります。活動後はペアの相手に対し感謝の言葉やがんばっていたことなど、メッセージとしておくりします。



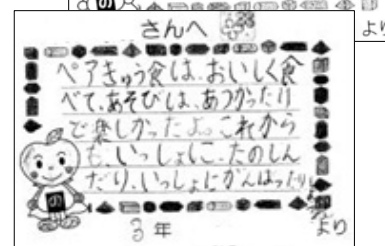
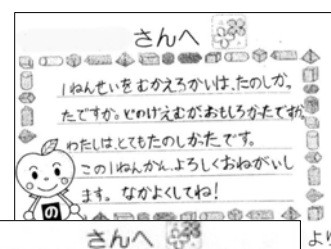
全校生で名刺交換ゲーム



1年生と6年生でペア読書

成果

- 上級生は常に下級生のことを考えて計画し、自分の役割や立場を意識した言動が取れるようになってきました。下級生は上級生に感謝し、集団活動に必要なきまりや自製の心を学ぶことができます。
- 感謝の言葉や次の活動への期待感など、個々の思いを素直に表現する力が伸び、主体的にコミュニケーションをとろうとする意欲も高まっています。



活動後に送る
「ありがとうカード」

「自分を大切にできる心」を育む学級活動

目的

「未来設計図」を書いて自分の将来を想像することで、自分の生き方について考え、目標をもち、前向きに努力することの大切さに気付かせ自尊感情を高めようと考えました。

1 主 題 大切に生きる 「ぼくの夢 わたしの夢」		
学習指導計画		
時	学習活動	評価規準
1	「いのち」について考えよう	命をテーマにした資料を読んで話し合い、生命について自分なりの考えを書くことができる。
2	いのちを大切にするためには	「いのちを大切にするためには」のダイヤモンドランキングをつくり、他の人や生きものはもちろん、自分自身も大切にしなければならないことを考えることができる。
3 本時	ぼくの夢 わたしの夢	自分の「未来設計図」をつくり、将来の目標を考えることで、今を一生懸命生きようという思いを持つことができる。
4	「ともだち集会」で伝えたいこと	「いのち」について学んだことをもとに、集会で発表した いことを話し合うことができる。

内容

● 「未来設計図」をつくる

長所や好きなことなど自分をしっかりと見つめながら「未来設計図」を作りました。未来への夢や将来への期待感をもたせ、前向きに生き方を考える経験をしました。

● 家族の思いに触れる

「なりたい自分」をめざすために必要なことについて話し合った後、児童一人ひとりに家族からの手紙を渡しました。応援のメッセージが込められた手紙を読んで、家族の温かい支えがあることを改めて感じる事ができ

成果

家族からの温かい思いに触れることで、未来に向けて今できることを一生懸命やろうという意欲が児童の言葉に感じられました。また、それが「自分を大切にすること」であることにも気付くことができたようです。

◆ 本校におけるその他の取組

- 本校卒業後進学する飯山中学校、及び同町内の飯山北小学校の3校で連携し共通理解を図るために、情報交換や指導上の問題などを話し合う連絡会を開いています。
- 規範意識を育てる環境を整えるため、「学校のきまり」を明文化し、学校・児童・保護者全員が共通理解して取り組んでいます。